

解答

㊦

- I ① ほっそく ② あんぴ ③ げらく

- II a 機転 b 懐中 c 標識

- III 馬耳東風、晴耕雨読、雲散霧消、青天白日

㊧

- 問一 ウ
- 問二 オ
- 問三 ア
- 問四 イ
- 問五 ほくはこのうちの子になったが、母さんはお客さんということ。
- 問六 おじさんのほうへ向ぶすっとする
- 問七 未来
- 問八 イ
- 問九 エ
- 問十 ウ
- 問十一 問
- 問十二 ア、オ

㊨

問一 自己を維持しようとする本能

- 問二 イ
 - 問三 ウ
 - 問四 エ
 - 問五 ア
 - 問六 B
 - 問七 E
 - 問八 C
 - 問九 A
 - 問十 D
 - 問十一 E
 - 問十二 ウ
- ものごとの 具体的なルール
融通のきかない断片的な知識
ものごとを一般化して、根底的なルールを学習すること。

解説

㊦

問五 「ああ、そうか。」で始まる段落で説明されています。「母さんはこのうちのひとではない（＝お客さん）」
「ぼくはこのうちの子になったんだ」ということに「ぼく」が気づいた様子が描写されています。

㊧

問十 「見えているもの、感知したものをより一般化して、うわべの情報に惑わされないようにすること」「その
ことの表面下を共通して流れる根底的なルールに気づくこと」の大切さを筆者は主張しています。